



事業継続計画

平成 23 年 4 月 1 日

株式会社ジオ・コミュニケーションズ

BCP の基本方針

当社においては、BCP（事業継続計画）を策定し、的確にこれを運用するために、当社の特性を踏まえつつ、緊急時に事業継続を図る上で重要な事項については、概要以下のとおりである。

I. BCP 策定・運用の目的

1. 顧客様にとって
依頼者の調査計画への悪影響を抑える。
2. 社員にとって
社員と家族の安全と雇用を守る。
3. 地域にとって
地域の生活と経済へ貢献する。

II. 緊急時に事業継続を図る上での要点

1. 企業同士の助け合い
協力・関連企業が共に BCP を学び、緊急時には助け合う。
2. 商取引上のモラル
緊急時であっても協力企業や納品業者への支払いは滞らない。
3. 地域への貢献
住民の安全のため、最善を尽くす。

III. BCP 及び災害計画の更新時期：毎年 2 月（年 1 回更新）

BCP の策定・運用体制

当社において、BCP（事業継続計画）を策定する体制、平常時に BCP の運用を推進する体制、及び緊急時に BCP を発動し、事業等の継続対策を推進する体制は以下のとおりである。

I. BCP の策定体制：

1. 責任者：社長
2. サブリーダー：副社長、営業部長

II. 平常時における BCP の運用推進体制：

1. 責任者：副社長

2. サブリーダー：営業部長
3. 取引先企業や協力会社：株式会社ジオリソーシーズ
4. 一緒に取組む組合等の組織：なし
5. BCP 運用の対象者：社員全員で運用

Ⅲ. 緊急時における BCP の発動体制：

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 責任者：社長 | 〔代行者〕 副社長 |
| 2. 顧客・協力会社担当サブリーダー：副社長 | 〔代行者〕 営業部長 |
| 3. 事業担当サブリーダー：営業部長 | 〔代行者〕 技術部長 |
| 4. 財務担当サブリーダー：副社長 | 〔代行者〕 総務部長 |
| 5. 社員支援担当サブリーダー：総務部長 | 〔代行者〕 営業部長 |

中核事業に係る情報

当社における中核事業及びそれに係る情報は以下のとおりである。

中核事業	地質解析事業	
中核事業の社内責任者	副社長	
中核事業中断の場合の損失額 (含む違約金等)	売上高 7 百万円/月 (平成 22 年平均)	
中核事業による技術提供先	会社名	
	主要連絡先 (電話番号等)	
	車内担当者	
目標復旧時間	大規模地震 1 週間 程度	
中核事業中断可能性がある災害等	地震 (東海地震等)、台風等	
備考		